

事業番号	04 05 02	事業改善シート（令和7年度実施事業分）				☐ 当初要求	☐ 当初予算案	☐ 補正予算案	☒ 点検
事業名	高等教育振興事業費	部局	県民文化部	課・室	県民の学び支援課				
		実施期間	H26 ～	E-mail	ken-manabi @ pref.nagano.lg.jp				

1 現状と課題

- ・本県の令和6年度の大学収容力は21.8%と全国最低水準（全国第44位）である。また、県内大学で学べる分野は多岐にわたるものの、設置されている学部学科の規模には大小があることから、大学進学者の約8割が県外に進学している。
- ・技術革新等による激しい時代の変化にも柔軟に対応できる人材や地域の中核となる人材の育成・確保において、県内の大学等に地域社会から大きな期待が寄せられている。
- ・このため、若者や社会人のニーズに応える学びの環境を県内に整備するとともに、県内の大学等における人材の育成・確保に係る取組を支援するなど、高等教育を振興する必要がある。

2 事業目的

高等教育の振興により、地域が求める人材の育成・確保及び県内定着をめざす。

3 事業目的を達成するための取組

①公立大学法人長野県立大学の運営を支援

- ・長野県立大学及び同大学院における特色ある教育研究活動や地域貢献活動を財政面で支援
- ・高等教育の修学支援新制度に基づき長野県立大学が実施する授業料及び入学金の減免を財政面で支援
- ・公立大学法人の業務実績を評価するため、評価委員会を開催

②若者や社会人のニーズに応える学びの環境を整備

- ・大学への進学を希望する県内の若者の選択肢の増加と、大学を核とした地域の活性化を図るため、大学等の立地促進活動を実施
- ・県内における高度専門技術人材の育成・定着を図るため、「長野県高等教育振興基本方針」に基づく、清泉大学（仮称）農学部

③地域が求める人材の育成・確保に向けた取組を支援

- ・「産学官ひとづくり支援員」を配置して、産学官連携インターンシップを実施
 - ・若者の県内就職への選択肢の拡大を図るため、県内高校生や県内理工系学生が自分のロールモデルとなるような方からキャリア形成のアドバイスを受けられる機会を創出
 - ・県内の大学生が本県の地域や企業の魅力について理解を深められる高等教育コンソーシアム
- 信州の事業を支援
- ・県内の大学及び短期大学の魅力について、県内外の高校生に情報発信
 - ・敷地の早期有効活用に向けて、老朽化に伴い用途廃止した長野県立大学旧明和寮の除却設計を実施



信州で学ぼう！魅力発信サイト

4 成果指標

（推移の凡例 ↗：改善 ↘：悪化 →：変化なし —：数値なし）

No.	指標名	単位	R5年度	R6年度		R7年度		R7年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移	実績	推移			
①	長野県立大学卒業生のうち就職希望者の就職率	%	100.0	99.1	↘	98.7	↘	100.0	未達成	過去の実績を踏まえて、引き続き就職希望者の就職率100%をめざして、目標を100%とした。
②	産学官連携インターンシップの参加学生数（延べ人数）	人	87	78	↘	79	↗	84	未達成	ガイダンスの開催等に取り組み、インターンシップに参加する学生が増加することを目指して目標を84人とした。
③	県内の大学及び短期大学の入学定員充足率	%	94.0	90.4	↘	93.9	↗	100.0	未達成	県内大学の魅力発信等に取り組み、入学定員枠が充足されることを目指して目標を100%とした。

5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標 （☆印が付いているものは主要目標）	単位	直近3か年の状況						目標	
				年／年度	数値	年／年度	数値	年／年度	数値	年／年度	数値
5-3①	高等教育の振興による地域の中核となる人材の育成	県内大学の収容力	%	2023 (R5)	21.7	2024 (R6)	21.8	2025 (R7)	22.4	2027 (R9)	25
5-3①	高等教育の振興による地域の中核となる人材の育成	☆県内大学卒業生の県内就職率	%	2023 (R5)	51.2	2024 (R6)	52.2	2025 (R7)	53.0	2027 (R9)	58
5-3①	高等教育の振興による地域の中核となる人材の育成	県内大学と県内企業・自治体との共同研究・連携事業数(当該年度以前の3か年平均)	件	2023 (R5)	366	2024 (R6)	383	2025 (R7)	427	2027 (R9)	400

6 事業コスト

（単位：千円、人）

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)	うち一般財源		
R7年度	0	1,241,245	255,700	1,496,945	1,471,179	1,316,568	5.0
R6年度	0	1,132,824	9,996	1,142,820	1,135,046	1,132,026	5.0
R5年度	0	1,131,344	849	1,132,193	1,126,024	1,125,589	5.0

事業番号	04 05 02	事業改善シート（令和7年度実施事業分）	□当初要求	□当初予算案	□補正予算案	■点検
事業名	高等教育振興事業費	部局	県民文化部	課・室	県民の学び支援課	

7 主な取組実績と成果

①公立大学法人長野県立大学の運営を支援

- ・長野県立大学及び同大学院における特色ある教育研究活動や地域貢献を財政面で支援するため、運営費交付金1,109,241千円を交付
- ・高等教育の修学支援新制度に基づき長野県立大学が実施する授業料及び入学金の減免を財政面で支援するため、157,246千円を交付

②若者や社会人のニーズに応える学びの環境を整備

- ・大学進学における県内選択肢の拡充と大学を核とした地域活性化を図るため、大学等の立地促進に向け、県・大学・誘致に積極的な自治体の三者が、大学ニーズの高い学外実習やフィールドワークに関する事務レベルの協議を行い、その結果、フィールドワークや大学による地域活性化セミナーを新たに実施

③地域が求める人材の育成・確保に向けた取組を支援

- ・学生のキャリア形成及び県内就業の促進を図るため、県内におけるインターンシップを実施し、参加を希望する学生73人と企業49社のマッチングを支援
- ・若者の県内就職への選択肢の拡大を図るため、県内高校生や県内理工系学生が自分のロールモデルとなるような方からキャリア形成のアドバイスを受けられる交流会を6回実施
- ・県内大学の連携組織「高等教育コンソーシアム信州」が取り組む、県内大学生が長野県の地域や企業の魅力について理解を深める「信州若者会議」を財政面で支援
- ・県内の大学及び短期大学の魅力について、WEB広告（60,000クリック）、ポスターの掲示（県内外13駅等）、進学説明会への参加（県外4会場）等、発信方法を多様化し、県内だけでなく県外の学生に対してもPRを強化して実施



「信州若者会議」の様子

8 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標①	長野県立大学卒業生のうち就職希望者の就職率	R6年度推移	↘	R7年度推移	↘	達成状況	未達成
長野県立大学卒業生のうち就職希望者の就職率は98.7%となり、目標値には届かなかったものの、大学のキャリア形成支援によって、高い水準を維持している。							
指標②	産学官連携インターンシップの参加学生数（延べ人数）	R6年度推移	↘	R7年度推移	↗	達成状況	未達成
産学官連携インターンシップの参加学生数は、継続的な学生ガイダンスの開催等によって前年度より増加したものの、目標は未達成となっており、その背景には、就職活動における学生優位の状況が続く中、本事業への参加ニーズの低下があると考えられる。							
指標③	県内の大学及び短期大学の入学定員充足率	R6年度推移	↘	R7年度推移	↗	達成状況	未達成
私立大学への進学者数が増加し、対前年比で3.5ポイント増加したが、短期大学の入学定員充足率が依然として低く、目標は未達成となった。							

9 今後の事業の方向性

(1) 上記7、8及び県民の意見等を踏まえた課題

- ・県内の大学及び短期大学の魅力をより効果的かつ広範に周知するための手段を研究して実施する必要がある。また、志願者拡大の上で大きな影響のある、オープンキャンパスの参加者数を増やす必要がある。
- ・産学官連携インターンシップ事業に参加する学生及び企業の参加数の増加、企業と学生とのマッチング率の向上を図るとともに、キャリア教育としてのインターンシップ事業のあり方を再検討していく必要がある。

(2) 事業改善の方策

- ・県内の大学及び短期大学の魅力について、WEB広告、ポスター、デジタルガイドブック等様々な媒体を活用して発信を行うとともに、オープンキャンパス等の参加者の増加を図るため、県内大学・短大においてデジタルスタンプラリーを実施し、他の広報媒体では伝わりにくい実体験を提供することで進学検討を具体的に後押しすることを目指す。
- ・大学や企業への訪問などにより、インターンシップ事業の周知を強化するとともに、プログラムの内容の改善などの支援や学生ガイダンスの開催により、学生と企業の参加数やマッチング数の増加を図る。あわせて大学1・2年生への働きかけの強化を検討していく。
- ・県立大学では地域・社会の発展に貢献する人材育成や研究開発の推進等が引き続き求められるため、適切な財源や人材を確保し、有意義なカリキュラムの提供ができるよう、安定した法人運営に必要な財源を支援することにより、県立大学の理念の実現と使命の達成を支援していく。さらに県内出身の意欲ある学生が経済的理由により本人が希望する進学を断念することがないよう国制度に加えて、長野県立大学に通う学生に対して県独自の支援を継続的に行う。

事業番号	04 05 02	細事業一覧（令和7年度実施事業分）		☐ 当初要求	☐ 当初予算案	☐ 補正予算案	■点検
事業名	高等教育振興事業費		部局	県民文化部	課・室	県民の学び支援課	

細事業 No.	細事業名		R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 決算額
1	公立大学法人長野県立大学関連事業費		1,106,962 千円	1,116,540 千円	1,266,742 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	公立大学法人長野県立大学運営費 交付金	交付金	・長野県立大学及び大学院における特色ある教育研究活動や地域貢献活動を財政面で支援		
			交付額1,109,241千円		
2	公立大学法人長野県立大学授業料 等減免交付金	補助金	・高等教育の修学支援新制度に基づき長野県立大学が実施する授業料及び入学金の減免を財政面で支援		
			・所得制限なく多子世帯まで支援拡充（支援額：授業料全額） ・県独自で年収380万円未満の世帯まで支援拡充		
			交付額157,246千円、対象学生数282人		

細事業 No.	細事業名		R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 決算額
2	地域が求める人材の育成・確保に向けた取組を支援する事業		18,627 千円	15,486 千円	49,826 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	信州産学官連携インターンシップ事業	直接委託	・「産学官ひとづくり支援員」を配置して、産学官連携インターンシップを実施		
		補助金	産学官ひとづくり支援員の配置人数2人		
2	信州理系学生キャリア探索事業	委託	・若者の県内就職への選択肢の拡大を図るため、県内高校生や県内理工系学生が自分のロールモデルとなるような方からキャリア形成のアドバイスを受けられる機会を創出		
			交流会の開催回数6回		
3	大学等立地促進事業	直接	・大学への進学を希望する県内の若者の選択肢の増加と、大学を核とした地域の活性化を図るため、大学等の立地促進活動を実施		
			・県外大学等を訪問し、関係強化を目指して県内での活動展開についての意見交換等を実施（2回） ・大学教員、学生、地域住民が参加する大学主催の地域活性化セミナー開催 ・地元自治体等の協力を得たフィールドワーク実施（2回）		
4	清泉大学（仮称）農学部設置事業補助金	補助金	・県内における高度専門技術人材の育成・定着を図るため、「長野県高等教育振興基本方針」に基づく、清泉大学（仮称）農学部の設置経費に対する助成に係る債務負担行為を設定（期間：令和7年度～令和8年度、金額：400,000千円）		
			令和9年4月開設予定		
5	長野県立大学旧明和寮除却事業	直接委託	・敷地の早期有効活用に向けて、老朽化に伴い用途廃止した長野県立大学旧明和寮の除却設計を実施		
			長野県立大学旧明和寮の除却設計を実施		